

今までに、搬入口の狭い現場への製品の搬入方法で、
お困りになった事はありませんか？

中継基地積替え輸送システムのご提案

輸送コスト削減と輸送手配のご負担の軽減化を目指して...

ご提案書



大塚運送株式会社

お客様担当 大塚仁志

ご提案主旨

ご提案の主旨は、次のとおりです。

現状

搬入口の狭い現場が増加、物流コストが上昇

近年 都心部で、大型車両(30tトレーラー・10tトラック等)で、直接製品の搬入ができない狭い現場が増えてきている
直接搬入可能な小型車両(4tトラック等)で製品の輸送を行う場合には、輸送回数が増える為、輸送コストが上昇する
直接郊外の製鋼メーカーから小型車両で輸送する場合には、遠距離輸送の為、輸送運賃が高くなる
輸送運賃が高く、輸送回数が増えた場合には、輸送コストが上昇して、お客様の収益性を圧迫している
製品の引取り先が、近郊の営業倉庫の場合には、近距離輸送の為、輸送運賃は、安くなるが、製品の仕入コストが高くなる
仕入コストが高い場合には、輸送運賃が安くても、物流コストが、上昇して、お客様の収益性を圧迫している

目標

物流コストの削減と輸送手配の負担の軽減

物流コストを削減し、製品価格のコスト競争力を高め、収益性の向上を実現する
搬入口の狭い現場への煩雑な、輸送手配の負担を軽減化し、本来の営業活動に力を傾注する
個々の物件毎に、納品先の要望に応えながら、より効率的に、よりリーズナブルな輸送システムを構築する

参考資料 3 (物流コスト削減効果の事例)

課題

輸送計画と手配を専門業者へアウトソーシング

制約条件の厳しい現場の場合には、初期の打ち合わせの段階から専門業者と協働で輸送計画を立案する
現場の下見から、現場担当者との打合せを、専門業者に委託して、仕入の手配と輸送計画の調整作業に専念する
仕入先は、仕入単価の安い製鋼メーカーから行い、輸送方式を、直送方式から中継方式に切り替える

ご提案内容

ご提案の内容は、次のとおりです。

内容

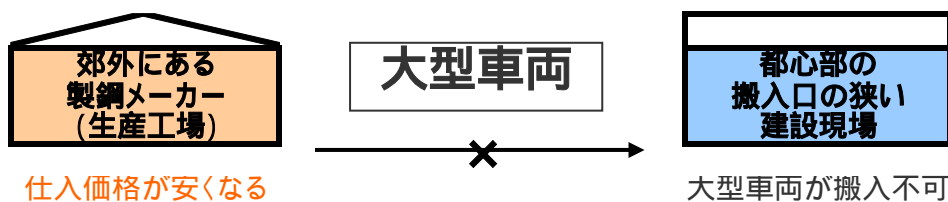
名称	今までに、搬入口の狭い現場への製品の搬入方法で、お困りになった事はありませんか？ 中継基地積替え輸送システム
内容	輸送計画立案と現場監督様との打合せをサポートさせていただきます。 中継基地積替え輸送システムは、以下のサービスをご提供いたします。 当社の輸送計画立案責任者が、現場の下見を行います。 現場の状況を把握した上で、搬入可能な車両の情報提供を行います。 現場監督様との製品の搬入方法の打合せを行います。 現場に近い積替え可能な中継基地の選定を行います。 道路通行許可申請の代行業務等を行います。 荷降ろしの為の重機等の手配を行います。 参考資料 1 (従来の輸送方法と中継輸送システムの違い) 参考資料 2 (中継輸送システムのサービス内容と特長のフロー図)
方法	現地の確認と、個別の物件毎に輸送計画を立案 ご依頼の物件毎に、現場の下見をした上で、輸送計画を立案いたします。
効果	物流コスト削減効果 (7.9% ~ 13.9%) 参考資料 3 (物流コスト削減効果の事例)
費用	現場の搬入条件に合わせて、別途お見積をさせていただきます
備考	現場の下見と輸送計画のお見積は、無料です！ お気軽にご用命下さい！

参考資料

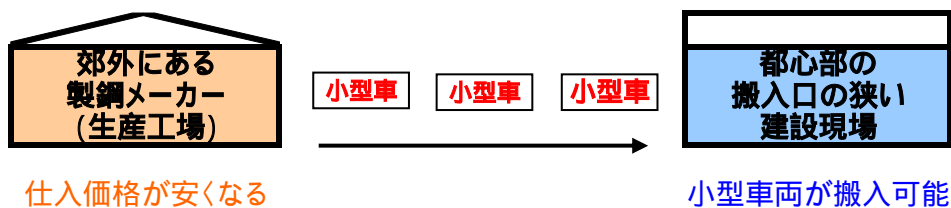
参考資料 1

従来の輸送方式と中継輸送システムの違い

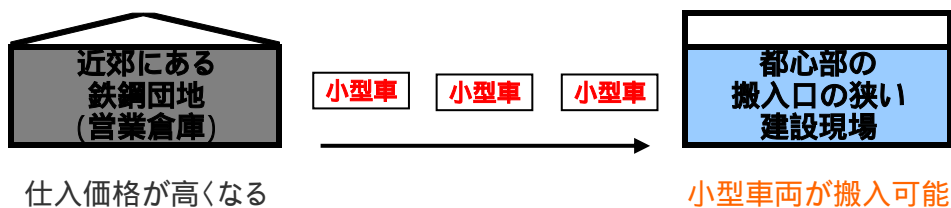
- 例 1** 現場近くの進入経路が狭い為、大型車両で搬入できない場合
大型車両による遠距離の幹線輸送(輸送費が安くなる)



- 例 2** 製鋼メーカーから搬入可能な小型車両で搬入する場合
小型車両による遠距離のピストン輸送(輸送費が高くなる)



- 例 3** 近郊の鉄鋼団地から搬入可能な小型車両で搬入する場合
小型車両による近距離のピストン輸送(輸送費が安くなる)



- 例 4** 中継基地を活用して小型車両にて積替え輸送で搬入する場合
小型車両による近距離のピストン輸送(輸送費が安くなる)



参考資料

参考資料 2

積替え中継輸送システムのサービス内容と特長

移動基地積替え輸送システムのサービス内容のフローチャート図

